

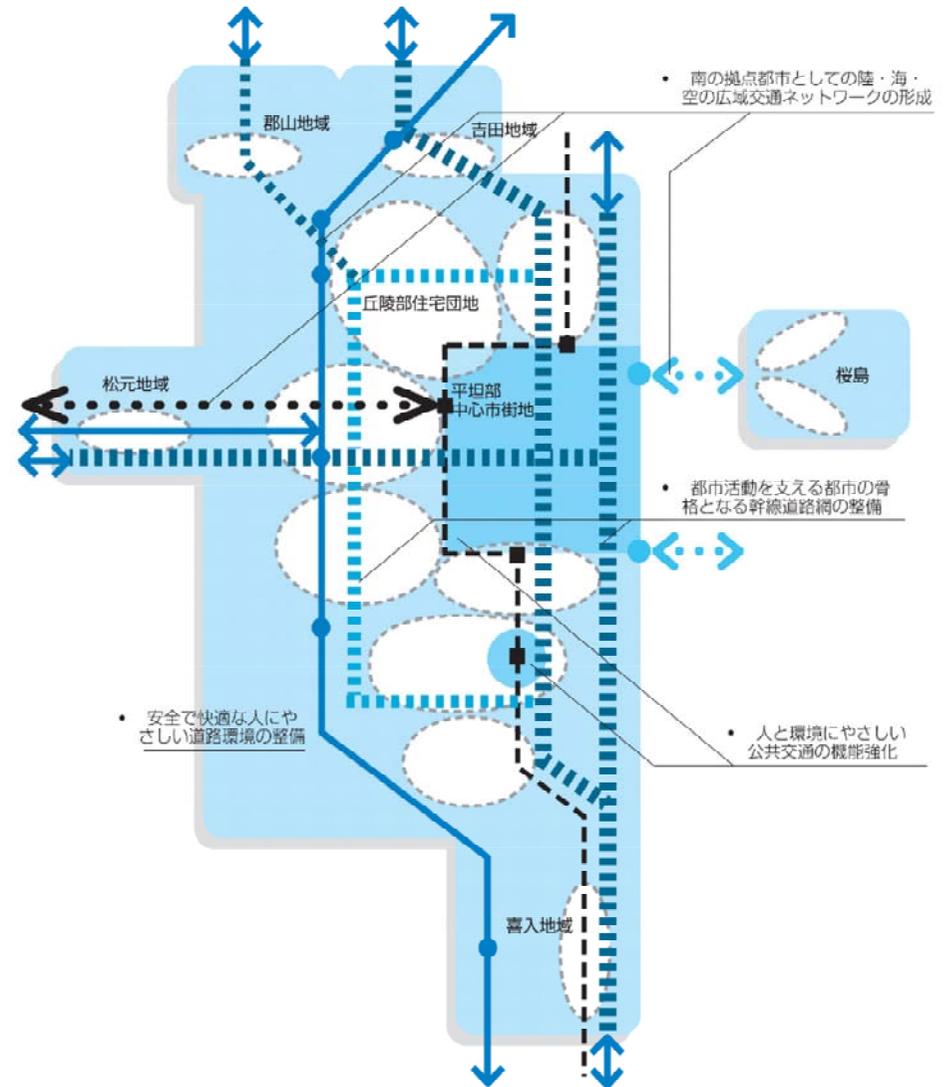
鹿児島市公共交通ビジョン

1. 概要

理念 ・ 方針	(基本理念) 『公共交通を活かした 歩いて楽しむ緑のまち かごしま』
	(基本方針) 1. 利便性・効率性の高い、持続可能な交通体系の構築 2. 安全・快適で、人と環境にやさしい交通環境の整備 3. 特色ある公共交通を活かしたまちづくりの推進
目標 年次	H33年度

位置 づけ	平成19年に改定した「かごしま都市マスタープラン」の交通体系部門の目標の実現、さらには、少子高齢社会の進展や環境問題への対応といった社会的要請に交通政策の面から応えるための同部門の推進計画として策定		
	総合交通体系(PT調査)	○	H2
	都市マスタープラン	○	H19
	総合交通体系(基礎調査)	○	H20
戦略 策定 範囲	都市圏		
	市域	○	
	特定エリアのみ		

◆交通体系の基本方針図(概念図)



出典:かごしま都市マスタープラン(H19)

鹿児島市公共交通ビジョン

2. 目標と指標

主な指標	交通	交通手段別分担率	
		一定時間アクセス可能圏域人口(拠点等)	
		中心部歩行者数	○
		自転車交通量	
		公共交通カバーエリア	
		バス利用者数	○
		鉄道、路面電車利用者数	○
	フェリー利用者数	○	
	社会	DID内人口密度	
		中心部居住人口・公共交通サービス圏域人口	
商品販売額			
環境	交通事故件数、死傷者数		
	CO2排出量	○	
その他指標	中心市街地の入込観光客数	○	

【評価指標】

① 公共交通利用者数

現況

鉄道 : 12,009千人(H20年度)
 路面電車 : 10,868千人(")
 路線バス(県内) : 41,811千人(")
 桜島フェリー : 3,851千人(")

数値目標

現状(20年度)以上

短期的には
 減少傾向に歯止めをかけ、
 中長期的には
 現状以上を目指す。

※鉄道は、鹿児島中央駅を除く乗降客数
資料：各交通事業者資料

② 運輸部門からの温室効果ガス排出量

現況

2,284千トン
 (現況年度：H15年度)
 2,094千トン
 (基準年度：H2年度)

数値目標

2,111千トン
 現況年度比 7.6%減
 基準年度比 0.8%増

資料：鹿児島市地球温暖化対策地域推進計画 (H23年度目標)

③ 中心市街地の入込観光客数・歩行者通行量

現況

入込観光客数
 7,341千人/年 (H20年値)
 歩行者通行量
 128,635人/日 (H21年値)

数値目標

入込観光客数
 8,000千人/年
 歩行者通行量
 150,000人/日

※歩行者通行量は、中心市街地20地点の土口調査
資料：鹿児島市中心市街地活性化基本計画 (H24年目標)

鹿児島市公共交通ビジョン

3. 展開施策(1)

公共交通のあり方 (公共交通に関する課題のまとめ)

① 集約型都市構造の実現に向けた公共交通の利便性向上と持続可能な交通体系の構築

・他都市で多くみられるモータリゼーションの進展による都市の肥大化、拡散型の都市構造は、本市においても同様な傾向がみられることから、集約型都市構造の実現に向け、クルマへの過度な依存からの脱却を目指す必要がある。

・そのためには、公共交通が自家用車による移動に比して遜色のない利便性・快適性を確保するとともに、各交通手段の適切な役割分担のもと結節機能の強化を図り、将来的にも持続（存続）可能な効率性の高い交通体系を構築する必要がある。

② 少子高齢社会の進展、環境問題等への対応といった社会的要請への取組

・少子高齢化の急速な進展や人口減少社会への移行を踏まえ、高齢者等が安全・快適に移動できるよう、道路や車両等のバリアフリー化、待合施設の改善など交通環境の整備を推進する必要がある。

・また、喫緊の課題である地球温暖化対策として、本市の温室効果ガス排出量の最も大きな割合を占める運輸部門での削減が効果的であることから、車両及び船舶の低公害化・低燃費化を推進するとともに、過度なクルマの利用を抑制し、公共交通利用への転換を誘導するなど、有効なハード・ソフト施策を一体的に推進する必要がある。

③ 潜在的なポテンシャルが高く、特色ある公共交通のまちづくりへの活用

・本市は国内でも数少ない路面電車やフェリーを有するなど公共交通のバラエティに富み、地形的要因もあって他の同規模の都市と比べて極端に公共交通利用が低い状況には至っておらず、公共交通に対する潜在的なポテンシャルは高いものと考えられる。

・今後も激化が予想される都市間競争を勝ち抜き、魅力あるまちづくりを進めるためには、かこしまの個性を最大限活用することが重要であり、路面電車やフェリーをはじめとした特色ある公共交通をその資源として活用していく必要がある。

交通施策の基本理念

公共交通を活かした
歩いて楽しむ緑のまち
かこしま



交通施策の基本方針

基本方針1
利便性・効率性の高い、
持続可能な交通体系の構築

基本方針2
安全・快適で、
人と環境にやさしい交通環境の整備

基本方針3
特色ある公共交通を活かした
まちづくりの推進

評価指標(目標:33年度)

- ① 公共交通利用者数
数値目標 現状(H20年度)以上
- ② 運輸部門からの温室効果ガス排出量
数値目標 2,111千トン
(平成15年度比7.6%減)
- ③ 中心市街地の入込観光客数・歩行者通行量
数値目標 入込観光客数 8,000千人/年
歩行者通行量 150,000人/日

重点戦略

推進施策

重点戦略1: 各交通手段の適切な役割分担と 結節機能の向上	<ol style="list-style-type: none"> 谷山地区サブターミナルの整備 鹿児島駅サブターミナルの整備 主要な交通結節点の整備 パークアンドライド駐車場の整備 サイクルアンドライドの推進 フィーダーバス路線の拡充 公共交通不便地の解消 廃止路線代替バス等の運行 世界遺産登録と連動した交通体系の検討
重点戦略2: 公共交通のサービス水準の向上	<ol style="list-style-type: none"> 運行頻度、運行時間帯の改善 輸送能力の向上 バスの定時性、速達性の向上 路面電車の定時性、速達性の向上 乗り継ぎ・乗り換えの円滑化 バスロケーションシステムの導入 案内情報の充実等
重点戦略3: 市民・交通事業者・行政が 一体となった 公共交通の維持・活性化	<ol style="list-style-type: none"> 広報媒体の活用による公共交通の利用促進 イベント開催等による公共交通の利用促進 公共交通の維持・活性化に向けた連携(公共交通ビジョンの推進等)
重点戦略1: 安全・快適な交通施設の整備	<ol style="list-style-type: none"> 重点整備地区のバリアフリー化 旅客施設のバリアフリー化 車両等のバリアフリー化 道路のバリアフリー化 交通安全施設のバリアフリー化 待合施設の改善 桜島港フェリー施設の整備
重点戦略2: 歩行者・自転車を優先した 通行環境の整備	<ol style="list-style-type: none"> 電線類の地中化 自転車走行空間の整備 自転車等の放置防止対策の推進 駐輪場の適正配置 自転車走行空間のネットワーク化 コミュニティサイクルの導入
重点戦略3: 環境にやさしい 交通環境の整備・交通行動の促進	<ol style="list-style-type: none"> 車両等の低公害化・低燃費化 渋滞箇所の解消 幹線道路網の整備等 道路交通情報の収集・提供 通勤シャトルバスの拡充 時差出勤・フレックスタイム制の導入 モビリティ・マネジメントの推進 エコ通勤の推進
重点戦略1: 都市景観・観光資源としての 公共交通の有効活用	<ol style="list-style-type: none"> 軌道敷緑化の推進 LRT(次世代型路面電車システム)の整備 交通局施設のリニューアル カゴシマシティビューの魅力向上 桜島フェリーの船舶建造 桜島港フェリーターミナルの改修 桜島フェリーミニクルーズ船運航 路面電車・桜島フェリーの有効活用
重点戦略2: 中心市街地にぎわい創出と 活性化を支援する交通環境の整備	<ol style="list-style-type: none"> 道路空間の再構築 商店街との連携等 アーケードの面的整備 回遊空間づくりの推進 甲突川右岸緑地の整備 (仮称)清瀬川通りの整備
重点戦略3: 広域交流を促進する 交通環境の整備	<ol style="list-style-type: none"> 鉄道の輸送力の増強 広域道路網等の整備 海上交通網の整備 鹿児島港新港区の再整備 航空交通網の整備

鹿児島市公共交通ビジョン

3. 展開施策(2)

基本方針1：利便性・効率性の高い、持続可能な交通体系の構築

重点戦略1 各交通手段の適切な役割分担と

重点戦略2 公共交通のサービス水準の向上

重点戦略3 市民・交通事業者・行政が

結節機能の向上

一体となった公共交通の維持・活性化

推進施策	実施主体	実施目標			
		実施中	短期	中期	長期
1. 谷山地区サブターミナルの整備	行政 交通事業者	<整備>			
2. 鹿児島駅サブターミナルの整備	行政 交通事業者	<検討>	<整備>		
3. 主要な交通結節点の整備	行政 交通事業者	<検討>	<整備>		
4. パークアンドライド駐車場の整備	行政 交通事業者	<検討>	<実施>……推進		
5. サイクルアンドライドの推進	行政 交通事業者	<検討>	<実施>……推進		
6. フィーダーバス路線の拡充	交通事業者	<検討>	<実施>……拡充		
7. 公共交通不便地の解消	行政	<検討>	<実施>……拡充		
8. 廃止路線代替バス等の運行	行政	<実施>……推進			
9. 世界遺産登録と連動した交通体系の検討	行政 交通事業者	<検討>	<検討結果により整備・実施>		

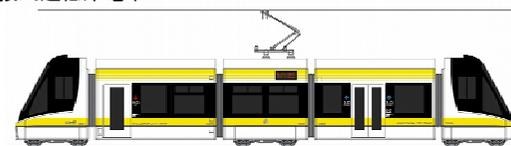
推進施策	実施主体	実施目標			
		実施中	短期	中期	長期
1. 運行頻度、運行時間帯の改善	交通事業者	<実施>……推進			
2. 輸送能力の向上	交通事業者	<実施>……推進			
3. バスの定時性、速達性の向上	行政 交通事業者	<検討>	<実施>……推進		
4. 路面電車の定時性、速達性の向上	行政 交通事業者	<検討>	<実施>……推進		
5. 乗り継ぎ・乗り換えの円滑化	行政 交通事業者	<実施>……推進			
6. バスロケーションシステムの導入	行政 交通事業者	<検討>	<実施>		
7. 案内情報の充実等	行政 交通事業者	<実施>……推進			

施策名	実施主体	実施目標			
		実施中	短期	中期	長期
1. 広報媒体の活用による公共交通の利用促進	行政 交通事業者	<実施>……推進			
2. イベント開催等による公共交通の利用促進	行政 交通事業者	<実施>……推進			
3. 公共交通の維持・活性化に向けた連携	行政 交通事業者	<検討>	<実施>……推進		

※ 短期：概ね5年以内 中期：概ね10年以内 長期：中期以降

■：調査・検討 ■：実施・整備

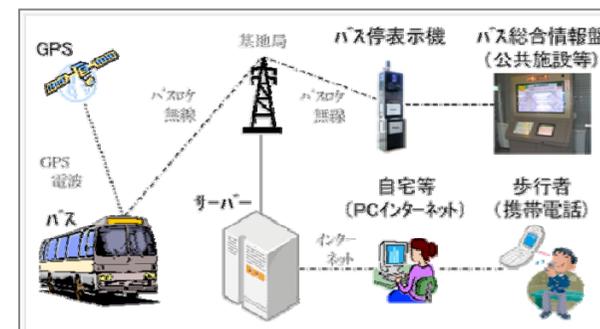
連接式超低床電車



谷山駅前整備イメージ



バスロケーションシステム(イメージ)



鹿児島市公共交通ビジョン

基本方針2：安全・快適で、人と環境にやさしい交通環境の整備

重点戦略1 安全・快適な交通施設の整備

推進施策	実施主体	実施目標			
		実施中	短期	中期	長期
1. 重点整備地区のバリアフリー化	行政 交通事業者	<基本構想改訂> <事業実施>			
2. 旅客施設のバリアフリー化	行政 交通事業者	<検討> <実施>……推進			
3. 車両等のバリアフリー化	行政 交通事業者	<検討> <実施>……推進			
4. 道路のバリアフリー化	行政	<検討> <実施>……推進			
5. 交通安全施設のバリアフリー化	行政	<検討> <実施>……推進			
6. 待合施設の改善	行政 交通事業者	<実施>……推進			
7. 桜島港フェリー施設の整備	交通事業者	<検討> <整備>			

低公害低床型バス



重点戦略2 歩行者・自転車を優先した

通行環境の整備

推進施策	実施主体	実施目標			
		実施中	短期	中期	長期
1. 電線類の地中化	行政	<検討> <実施>……推進			
2. 自転車走行空間の整備	行政	<検討> <実施>……推進			
3. 自転車等の放置防止対策の推進	行政	<実施>……推進			
4. 駐輪場の適正配置	行政	<検討> <実施>……拡充			
5. 自転車走行空間のネットワーク化	行政	<検討> <検討結果により整備・実施>			
6. コミュニティサイクルの導入	行政 市民等	<検討> <検討結果により整備・実施>			

自転車走行空間の整備例(パース通り)



重点戦略3 環境にやさしい交通環境の整備

・交通行動の促進

推進施策	実施主体	実施目標			
		実施中	短期	中期	長期
1. 車両等の低公害化・低燃費化	行政 交通事業者	<実施>……推進			
2. 渋滞箇所の解消	行政	<検討> <実施>……推進			
3. 幹線道路網の整備等	行政	<整備>……推進			
4. 道路交通情報の収集・提供	行政	<実施>……推進			
5. 通勤シャトルバスの拡充	交通事業者	<検討> <実施>……拡充			
6. 時差出勤・フレックスタイム制の導入	行政 市民等	<検討> <実施>……推進			
7. モビリティマネジメントの推進	行政 交通事業者 市民等	<実施>……推進			
8. エコ通勤の推進	行政 交通事業者 市民等	<実施>……推進			



鹿児島市公共交通ビジョン

基本方針3：特色ある公共交通を活かしたまちづくりの推進

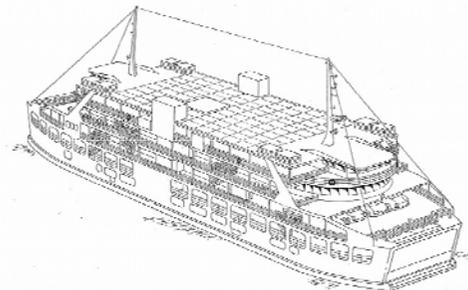
重点戦略1 都市景観・観光資源としての公共交通の有効活用

推進施策	実施主体	実施目標			
		実施中	短期	中期	長期
1. 軌道敷緑化の推進	行政	<整備>			
2. LRT（次世代型路面電車システム）の整備	交通事業者	<整備>			
3. 交通局施設のリニューアル	交通事業者	<検討>	<整備>		
4. カゴシマシティビューの魅力向上	行政	<実施>……推進			
5. 桜島フェリーの 新船建造	交通事業者	<整備>			
6. 桜島港 フェリーターミナルの改修	交通事業者	<整備>			
7. 桜島フェリー ミニクルーズ船運航	交通事業者	<検討>	<実施>		
8. 路面電車、 桜島フェリーの 有効活用	行政 交通事業者	<検討>	<検討結果により 整備・実施>		

重点戦略2 中心市街地のにぎわい創出と活性化を支援する交通環境の整備

推進施策	実施主体	実施目標			
		実施中	短期	中期	長期
1. 道路空間の再構築	行政 交通事業者 市民等	<検討>	<検討結果により 整備・実施>		
2. 商店街との連携等	交通事業者 市民等	<実施>……推進			
3. アーケードの 面的整備	行政 市民等	<整備>			
4. 回遊空間づくりの 推進	行政	<検討>	<検討結果により 整備・実施>		
5. 甲突川右岸緑地の 整備	行政	<整備>			
6. (仮称) 清滝川通りの 整備	行政	<整備>			

桜島フェリー新船(電気推進船)



重点戦略3 広域交流を促進する交通環境の整備

推進施策	実施主体	実施目標			
		実施中	短期	中期	長期
1. 鉄道の輸送力の増強	行政 交通事業者	<検討>	<検討結果により 整備・実施>		
2. 広域道路網等の整備	行政	<整備>……推進			
3. 海上交通網の整備	行政 交通事業者	<整備>……推進			
4. 鹿児島港新港区の 再整備	行政	<検討>	<整備>		
5. 航空交通網の整備	行政 交通事業者	<整備>……推進			

九州新幹線(平成23年3月全線開業)



鹿児島市公共交通ビジョン

3. 展開施策(3)

施策分類	主要施策
歩行者施策	<ul style="list-style-type: none"> ・重点整備地区のバリアフリー化 ・道路のバリアフリー化 ・交通安全施設のバリアフリー化 ・電線類の地中化
自転車施策	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクルアンドライドの推進 ・自転車走行空間の整備 ・自転車等の放置防止対策の推進 ・駐輪場の適正配置 ・自転車走行空間のネットワーク化 ・コミュニティサイクルの導入
公共交通施策	<ul style="list-style-type: none"> ・フィーダーバス路線の拡充 ・公共交通不便地の解消 ・廃止路線代替バス等の運行 ・運行頻度、運行時間帯の改善 ・輸送能力の向上 ・バスの定時性、速達性の向上 ・路面電車の定時性、速達性の向上 ・乗り継ぎ・乗り換えの円滑化 ・バスロケーションシステムの導入 ・案内情報の充実等 ・広報媒体の活用による公共交通の利用促進 ・イベント開催等による公共交通の利用促進 ・公共交通の維持・活性化に向けた連携 ・旅客施設のバリアフリー化 ・車両等のバリアフリー化 ・待合施設の改善 ・桜島港フェリー施設の整備 ・車両等の低公害化・低燃費化 ・通勤シャトルバスの拡充 ・軌道敷緑化の推進 ・LRT(次世代型路面電車システム)の整備 ・交通局施設のリニューアル ・カゴシマシティビューの魅力向上 ・桜島フェリーの新船建造 ・桜島港フェリーターミナルの改修 ・桜島フェリーミニクルーズ船運航 ・路面電車、桜島フェリーの有効活用 ・鉄道の輸送力の増強 ・海上交通網の整備 ・航空交通網の整備
交通結節点	<ul style="list-style-type: none"> ・谷山地区サブターミナルの整備 ・鹿児島駅サブターミナルの整備 ・主要な交通結節点の整備 ・鹿児島港新港区の再整備
自動車施策	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞箇所の解消 ・幹線道路網の整備等 ・道路交通情報の収集・提供 ・広域道路網等の整備
駐車場施策	<ul style="list-style-type: none"> ・パークアンドライド駐車場の整備
MM施策	<ul style="list-style-type: none"> ・時差出勤・フレックスタイム制の導入 ・モビリティ・マネジメントの推進 ・エコ通勤の推進
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産登録と連動した交通体系の検討 ・道路空間の再構築 ・商店街との連携等 ・アーケードの面的整備 ・回遊空間づくりの推進 ・甲突川右岸緑地の整備 ・(仮称)清滝川通りの整備

4. 総合交通戦略の推進及び評価

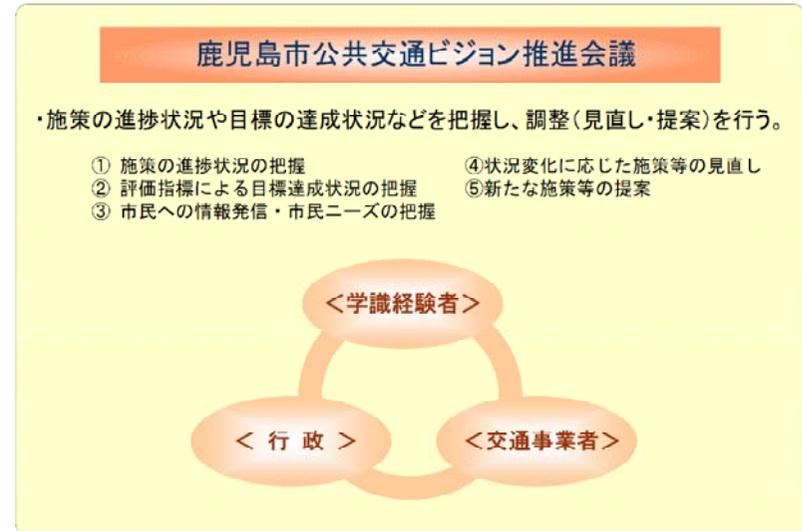
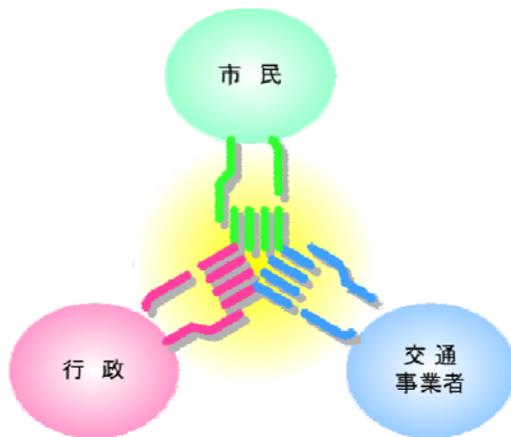
公共交通ビジョンの推進体制

(1) 鹿児島市公共交通ビジョン推進会議の設置

本ビジョンの着実な推進に向けて、施策の進捗状況や目標の達成状況などを把握し、調整（見直し・提案）を行うために、学識経験者、交通事業者、行政等で構成する「鹿児島市公共交通ビジョン推進会議」を設置します。

(2) 鹿児島市公共交通ビジョン推進会議幹事会の設置

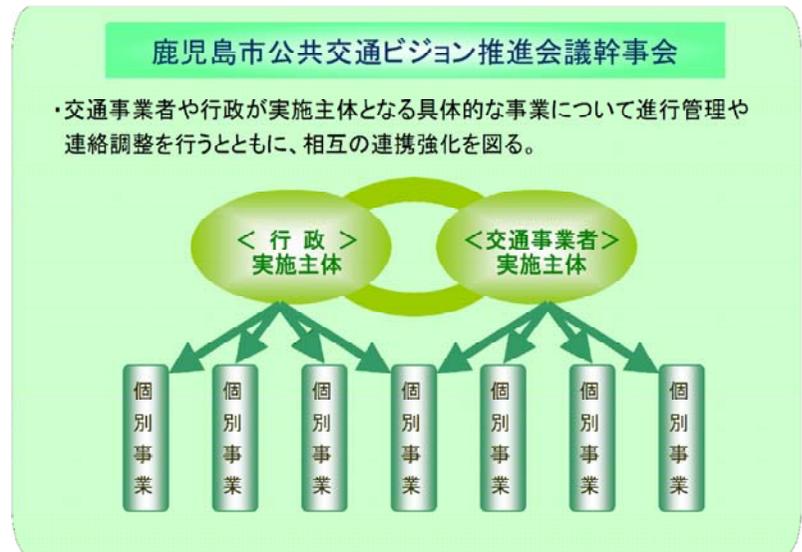
本ビジョンに基づき交通事業者、行政が取り組む施策の一体的かつ計画的な推進に向けて、施策に掲げる具体的な事業について進行管理や連絡調整を行うとともに、相互の連携強化を図るため、推進会議の下に「鹿児島市公共交通ビジョン推進会議幹事会」を設置します。



状況報告



施策(事業)等の見直し
新たな施策(事業)等の提案



5. その他(戦略報告書の構成・特徴等)

◆戦略の構成

基本理念	基本方針	重点戦略	推進施策
公共交通を活かした歩いて楽しむ緑のまちかごしま	1 利便性・効率性の高い、持続可能な交通体系の構築	1 各交通手段の適切な役割分担と結節機能の向上	9 施策
		2 公共交通のサービス水準の向上	7 施策
		3 市民・交通事業者・行政が一体となった公共交通の維持・活性化	3 施策
	2 安全・快適で、人と環境にやさしい交通環境の整備	1 安全・快適な交通施設の整備	7 施策
		2 歩行者・自転車を優先した通行環境の整備	6 施策
		3 環境にやさしい交通環境の整備・交通行動の促進	8 施策
	3 特色ある公共交通を活かしたまちづくりの推進	1 都市景観・観光資源としての公共交通の有効活用	8 施策
		2 中心市街地のにぎわい創出と活性化を支援する交通環境の整備	6 施策
		3 広域交流を促進する交通環境の整備	5 施策

特徴

◆戦略の特徴

基本方針3：特色ある公共交通を活かしたまちづくりの推進

重点戦略1 都市景観・観光資源としての公共交通の有効活用

交通政策の視点から、個性と魅力あふれるまちづくりを進めるためには、“かごしま”ならではの特色ある公共交通の有効活用を図ることが重要です。

本市ではこれまで、路面電車のセンターポール化や軌道敷の緑化、連接式超低床電車の導入やユニークな車体で人気を博するカゴシマシティビューの運行など、バラエティに富んだ特色ある公共交通を、景観資源・観光資源として有効に活用し、観光都市としての魅力の向上を図ってきました。

今後も、個性と魅力あふれるまちづくりを進めるために、引き続きカゴシマシティビューの魅力アップや路面電車の軌道敷の緑化を進めるとともに、新型路面電車の導入や桜島フェリーの新船建造などに取り組みます。

また、都市景観や観光資源の面から、路面電車や桜島フェリーのさらなる活用策の検討を行うなど、その有効活用に取り組みます。

路面電車

連接式超低床電車と軌道敷緑化



カゴシマシティビュー

レトロ調



桜島フェリー

バリアフリー船「プリンセスマリナー」

